

作成日 2021/10/05
改訂日 2021/10/14

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	ビードクリームトラック バス用 潤滑タイプ
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
整理番号	M220629

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 生殖毒性 区分2
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(肝臓 腎臓)

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険
危険有害性情報 H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
H372 長期間にわたる、又は反復ばく露による肝臓、腎臓の障害

注意書き
安全対策 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202)
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)

応急措置 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P308+P313)
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。(P314)

保管
廃棄 施錠して保管すること。(P405)
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水	27.0~32.0%	不明	不明	不明	7732-18-5
グリコール類	60.0~65.0%	不明	不明	不明	不明

脂肪酸ナトリウム	3.0~8.0%	不明	(2)-611	既存	67701-11-5
ステアリン酸ナトリウム	2.0%未満	NaC17H35 COO	(2)-611	既存	822-16-2

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分の悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服を脱ぐこと。皮膚を速やかに洗浄すること。多量の水と石けんで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の手当て、診断を受けること。

眼に入った場合

水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合、気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。気分が悪い場合は、すぐに医師の手当て、診断を受けること。

予想される急性症状及び連発性症状

経口摂取、腹痛、吐き気、下痢、めまい、し眠、錯乱、意識喪失。皮膚に付着:かぶれ、ただれ、発赤。

応急措置をする者の保護

データなし

5. 火災時の措置

消火剤

特有の危険有害性

周辺火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。
火災によって刺激性、毒性、又腐食性のガスを発生するおそがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。
安全に対処できるならば、着火源を除去すること。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め完全な防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業者は適切な保護具『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収、中和

少量の場合:漏えい物は清潔なシャベルを用いて、清潔な乾燥した容器に入れる、ゆるくフタをして漏れない場所から移す。
大量の場合:防護囲いをし、後で廃棄処理する。

封じ込め及び浄化の方法
及び機材

危険でなければ漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

	安全取扱注意事項	背職、吸入又は飲み込まないこと。眼・皮膚につけないこと。取扱後は良く手を洗うこと。
	接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	保管条件	容器を密閉して、換気の良い冷暗所で保管すること。
	混触危険物質	『10. 安定性及び反応性』を参照。
	安全な容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
ステアリン酸ナトリウム	未設定	未設定	TWA 10 mg/m ³ (I), 3 mg/m ³ (R), STEL -
水	未設定	未設定	未設定
脂肪酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定

設備対策		この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、排気用の換気を行うこと。
保護具	呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。 適切な保護手袋を着用すること。 適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
	皮膚及び身体の保護具	適切な顔面用の保護具を着用すること。
衛生対策		取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
形状	固体(ワックス状)
色	褐色
臭い	無臭
融点/凝固点	50°C
沸点又は初留点及び沸点	データなし
範囲	
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
	下限
	上限
引火点	データなし
自然発火点	>200°C
分解温度	データなし
pH	9~10
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配	データなし
係数	
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	1.07(計算値)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 化学的安定性		情報なし 通常の温度、圧力下では安定である。加熱により水分が揮発すると可燃性を生じる。
危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物		自己反応性はない。 水分が揮発すると可燃性を生じる。 情報なし 情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性	経口 経皮 吸入	データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／皮膚刺激性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
呼吸器感受性 皮膚感受性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性		データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 (生殖毒性) 区分2の成分が60%のため、区分2とした。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回 ばく露) 特定標的臓器毒性(反復 ばく露)		区分1(肝臓)の成分が60%のため、区分1(肝臓)とした。 区分1(腎臓)の成分が60%のため、区分1(腎臓)とした。
誤えん有害性		動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性 短期 (急性)		(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計が19%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
水生環境有害性 長期 (慢性)		(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計が1.9%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性 残留性・分解性 生体蓄積性 土壌中の移動性 オゾン層への有害性		データなし データなし データなし データなし データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。

本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

汚染容器及び包装

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報
Marine Pollutant
Liquid Substance
Transported in Bulk
According to
MARPOL 73/78,
Annex II, the IBC
Code

非該当
Not applicable
Not applicable

国内規制

航空規制情報
陸上規制
海上規制情報
海洋汚染物質
MARPOL 73/78 附
属書II 及びIBC コー
ドによるばら積み輸
送される液体物質
航空規制情報

非該当
非該当
非該当
非該当
非該当
非該当
なし

緊急時応急措置指針番号

15. 適用法令
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

ステアリン酸ナトリウム(政令番号:325)(5%未満)

毒物及び劇物取締法
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
化審法
海洋汚染防止法

非該当
非該当
優先評価化学物質(法第2条第5項)
有害でない物質(施行令別表第1の2)
有害液体物質(Y類同等の物質)(環境省告示第148号第2号)
有害液体物質(Z類同等の物質)(環境省告示第148号第3号)

外国為替及び外国貿易法

輸出貿易管理令別表第1の16の項

16. その他の情報
参考文献

製造元メーカー提供資料
NITE GHS分類結果一覧

JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法
JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報
の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス
日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム
「ezSDS」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、
取扱いには十分注意して下さい。